

" 音声が見える空手道大会 " 第 1 回 JDKF. 空手道競技大会 開催

期日 / 2018年2月4日(日)

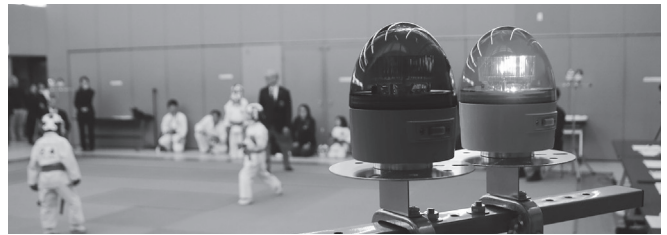
会場 / BumB東京スポーツ文化館(東京都江東区)

主催 / 全日本ろう者空手道連盟(JDKF.)

2月4日、全日本ろう者空手道連盟(JDKF.)の主催により、"音声が見える空手道大会"第1回JDKF.空手道競技大会が開催されました。幼児からシニアまで、ろう者や難聴者、聴者の約40名の選手が出場し、ご来賓や応援の方、審判員、スタッフを含め約80名が集まりました。

海外のデフリンピックなどでは、ライトによる視覚的情報保障がすでに導入されていますが、国内大会では、今大会が初めての試みです。

"音声が見える空手道大会"では、視覚的な情報をさまざまな配慮によって保障しています。組手競技においては、「勝負始め」「あとしばらく」などを主審が手話で伝える、「合図」と同時に赤色と青色のライトが発光するなど、見ただけでわかるように工夫しました。また形競技では、選手が申告する形名を表示ボードで掲示します。ろうや難聴の選手からは、「視覚的情報保障があってわかりやすかった」



合図で発光する赤と青2色のライト。副審の後ろに設置されています。

「集中して試合に臨むことができた」と好評でした。

今大会には、開催地の東京都だけでなく、埼玉県、奈良県、大阪府の選手も参加しました。試合前の稽古や試合後には、選手同士が交流する場面が見受けられ、互いに技術や知識を伝えあい、一緒に練習をし切磋琢磨するという、本大会の目的の一つを果すことができ、嬉しい限りです。

今回、初めての試みということもあり、さまざまな課題も明確になりました。一方で、この大会に関わった全員が得たものは大きいと感じています。この経験を糧に来年、第2回大会を開催する予定です。

本大会は、クラウドファンディングで皆様にご賛同いただき実現することができました。お礼申し上げます。引き続きよろしくお願いたします。(寄稿)



組手競技では主審が合図を手話で行いました。



形競技では形名を表示ボードで提示しました。



白熱した小学4~6年生女子組手の決勝戦。



ご来賓、審判の先生方、選手のみなさん。



一般形で優勝した北村陽選手のアナウンタイの演武。

大会結果

- | | | | |
|---|--|--|---|
| <p>《形》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆幼児 [優勝] 上野聡介 [準優勝] 椿志龍 [第3位] 岡海尋/柴田想礼 ◆小学1~3年生 [優勝] 北村七海 [準優勝] 上野瑞稀 [第3位] 今吉鈴/木村優歩 ◆小学4~6年生 [優勝] 佐藤小春 [準優勝] 江浦心輝 [第3位] 金子陽音/ | <p>森永うらら</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆中学生 [優勝] 湯澤葵 [準優勝] 石井優唯子 ◆一般 [優勝] 北村陽 [準優勝] 澤井裕美 [第3位] 高橋聖/竹下晃澄 | <p>《組手》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆幼児 [優勝] 柴田想礼 [準優勝] 阿部桜子 [第3位] 手塚叶愛/木村凰希 ◆小学1~3年生 [優勝] 佐藤柊成 [準優勝] 木村優歩 [第3位] 覺來亜衣菜 ◆小学4~6年生男子 [優勝] 江浦心輝 ◆小学4~6年生女子 [優勝] 佐藤小 | <p>春 [準優勝] 金子陽音 [第3位] 森永うらら/森こころ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆中学生 [優勝] 湯澤葵 [準優勝] 石井優唯子 ◆一般男子 [優勝] 北村陽 [準優勝] 竹本有吾 [第3位] 濱田心平/竹下晃澄 |
|---|--|--|---|